大分合同新聞、2013年5月21日付

災害時でもOK 軽量で操作簡単

足踏み式吸引器を発売 宇佐市の徳永装研

新しく発売された足踏み式吸引器「アモレFS1」＝宇佐市の徳永装器研究所

徳永装器研究所(宇佐市、徳永修一社長)は、電気がない環境でも口腔内や気管内のたん吸引ができる足踏み式吸引器「アモレFS1」を販売している。大分、宮崎両県を医療産業の拠点にする「東九州メディカルバレー構想」の一環で県が研究開発を支援した。今年3月に医療機器として製造販売が許可される薬事承認を取得した。

吸引器はポンプを踏んだ直後から吸引が可能。ポンプの気密性を高め、電気式とほぼ同じ吸引性能で使用できる。操作が簡単になり、使用後の排液処理もしやすくなった。

東日本大震災後の電力不足の際「電気がなくても使えるたん吸引器がないか」と全国から問い合わせがあり、開発に着手した。同社は「災害時に使用できる上、軽量で電気式吸引器よりも安い。病院をはじめ自治体や在宅患者にも使ってほしい」と話している。

県はメディカルバレー構想に基づき、医療産業新規参入研究会を設置。県内企業に補助金や薬事承認までの手続きをサポートする薬事アドバイザーを派遣している。

県産業集積推進室は「今後も地場企業を支援するので、製品開発にチャレンジしてほしい」としている。